

制定日 2016年4月 1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

白金

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	Pt
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類対象外(ミスト)
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A-2B
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分外
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ 呼吸器への刺激のおそれ

GHS 分類	項目	Pt
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p>【安全対策】 換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 粉じんを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>【応急措置】 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>【保管】 容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。</p> <p>【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報：	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	白金 (Platinum)
化学式または構造式	Pt
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7440-06-4
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
吸入した場合	呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	周辺の火災時： 適切な消火剤を使用する。
火災時の特定危険 有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性、又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある
特有の消火方法	安全に対処できるならば着火源を除去すること 消火活動は、有効に行える十分な距離から行う。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 周辺設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 風上に留まる。
環境に対する注意事項：	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和：	粉じん発生を防止するため水で湿らせ、清潔な帯電防止工具を用いて密閉可能な容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策：	すべての発火源や可燃性物質を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気装置・全体換気：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。 安全取扱い注意事項：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 作業衣易、安全靴は導電性のものを用いる。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 粉じん、ミストを吸入しない。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 眼に入れないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 接触回避：「10. 安定性及び反応性」を参照。
貯蔵	技術的対策：保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 混触危険物質：「10. 安定性及び反応性」を参照。 保管条件：熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。 混触危険物質等から離して保管する。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 容器包装材料：包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----
許容濃度	日本産業衛生学会(2005年版) 0.001mg/m ³ (水溶性白金塩、白金として) ACGIH (2005年版) TLV-TWA 1mg/m ³
設備対策	気中濃度を推奨された許容濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	呼吸用保護具: 吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡: 適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋: 皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣: 皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	銀白色
沸点:°C	3827°C
蒸気圧:Pa(20°C)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点:°C	1769°C
比重または嵩比重	21.45
溶解度	水%(°C):不溶 その他の溶媒%(°C): 塩酸や硝酸に不溶。王水に可溶
その他	-----

10. 安定性及び反応性

引火点:°C	情報が入手できません。
発火点:°C	情報が入手できません。
爆発限界:上眼% 下限%	情報が入手できません。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・水との反応性)	情報が入手できません。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
安定性・反応性	安定性: 常温では、王水以外の酸には侵されない。 危険有害反応性可能性: 地金状のものは不燃性。ただし、微細な粉末状のものは、強力な触媒であり、多くの反応により火災や爆発の危険性がある。 避けるべき条件: 混触危険物質との接触。
その他	混触危険物質: アルミニウム、アセトン、ヒ素、エタン、ヒドラジン、過酸化水素、リチウム、リン、セレン、テルル。 危険有害性のある分解生成物: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性:	急性毒性: データなし
皮膚腐食性・刺激性	皮膚腐食性・刺激性: 皮膚を刺激する可能性がある。 6) , 11) 皮膚刺激(区分 2)
眼に対する重篤な損傷/刺激性:	眼を刺激する。 眼を刺激する可能性がある。 強い眼刺激(区分 2A-2B)
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作性又は皮膚感作性: 呼吸器感作性: 日本職業・環境アレルギー学会でリストアップしている物質である。 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ(区分 1) 皮膚感作性: 非アレルギー性のように見えると評価 4) に基づき、区分外とした。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露):	気道を刺激するとの記述および鼻、喉又は気道を刺激する可能性があるとの記述から、区分 3(気道刺激性)とした。 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露):	金属白金粉じんを吸入しても中毒症状を起こすことはない 9) との記述から、区分外とした。
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

情報が入手できません。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号 第437号)
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
PRTR法	非該当

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ACGIH発行TLV_s[®] and BEI_s[®]2005 ・厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx ・安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0: 新規制定

*危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません